

## 教育研究評議会議事録（第206回）

日 時：令和3年 9月30日（木） 14時58分～16時42分

場 所：事務局第一会議室

出席者：小川、藤代、喜多、水野、佐々木、比屋根、藪、宮本、山本（欣）、横山、宇佐美、八代、伊藤、上村、田代、宇塚、関野、境野、丸山、松岡、山本（昭）、鎌田、清水、長田、大石、船崎、村上、小藤田、山下

### 配付資料

- |         |  |
|---------|--|
| 議題1     | 教員の懲戒に係る審査（取扱注意）   |
| 議題2     | 第4期中期目標・中期計画（素案）の修正について                                  |
| 議題3     | 岩手大学ビジョン2030について   |
| 議題4     | 岩手大学教育研究施設等の教員候補者選考委員会規則の一部改正（案）                         |
| 議題5     | 平泉文化研究センターの第4期以降の将来構想案について                               |
| 報告1     | 全学委員会等の見直しによる会議削減効果の検証について                               |
| 報告2     | 寄附講義「いわて観光グローバル人材育成講座」の設置について                            |
| 報告3 - 1 | 教員人事について（人文社会科学部）  |
| 報告3 - 2 | 教員人事について（教育学部）   |
| 報告4     | 役員会報告（第534回～第535回）                                       |
| 報告5     | 学長・副学長会議報告（第210回～第213回）                                  |
| 報告6     | 危機管理委員会報告（第29回～第35回）                                     |
| 報告7     | 令和3年度入試委員会（第3回）議事録                                       |
| 報告8     | 令和3年度入学試験実施状況【大学院・10月入学予定分】及び<br>令和4年度入学試験実施状況【大学院】【編入学】 |
| 報告9     | 令和3年9月卒業生及び修了生について                                       |

議事に先立ち、前回議事録について原案のとおり議事録を確定することとした。

### 議 題

#### 1. 教員の懲戒に係る審査について

学長から、教員の懲戒について審議する旨が述べられ、第205回の本会議に付議した懲戒審査について、国立大学法人岩手大学職員懲戒規則第5条に基づき審査説明書を交付し、当該教員から陳述の申請はなかったため、本日、懲戒処分及び量定の審査を行うとの説明があった。

審議の結果、国立大学法人岩手大学職員就業規則第45条第1項第1号、第3号、第5号及び第7号に該当するため、「停職6月」の懲戒とすることが承認された。

なお、学長から、懲戒処分の公表に関しては、財務・労務担当理事から説明する旨が述べられ、次いで、佐々木理事から、「国立大学法人岩手大学における懲戒処分の公表基準（平成24.9.4学長裁定）」に基づき、ホームページへの掲載及び岩手県庁教育記者クラブへの資料配付により公表することとなる旨の説明があった。また、今回は、「岩

手大学における経費の不正使用に係る調査の手續等に関する細則 第14条」の規定に基づき、氏名も含めた公表となり、具体的な公表内容について説明があった。

## 2. 第4期中期目標・中期計画(素案)の修正について

学長から、第4期中期目標・中期計画(素案)の修正について審議する旨が述べられ、藤代理事から、資料に基づき、文部科学省からの確認事項等について、主に「定性的指標」への指摘事項であったとの説明があった。次いで、藤代理事及び佐々木理事から修正案について説明があり、学長から、今後も文部科学省とやり取りは続くので、引き続きご意見を頂きたいとの付言があった。

審議の結果、原案のとおり了承し、文部科学省へ提出することとした。

## 3. 岩手大学ビジョン2030について

学長から、岩手大学ビジョン2030について審議する旨が述べられ、次いで、藤代理事から、資料に基づき、7月の本会議で提示した内容から整理・修正を行った観点と併せて次の説明があった。

- ・アクションプランについては、重複部分などを整理して97項目としたこと。
- ・「目標」と「戦略」については、既にホームページで公表していること。
- ・「主な実施部局」に記載されている部局等だけではなく、全学として取り組むものであること。
- ・ビジョンの概要や今後の取り組みを構成員へ分かりやすく説明するために、ポンチ絵を作成したこと。
- ・各学部からの提案項目は、今後はどのように展開していくかを検討して欲しいこと。

藤代理事から、今後も学内で共有し、目指す姿を明確にしながら具体的な取り組みを検討していきたいので、現在の案についてご意見を頂きたいとの発言があり、その後、質疑応答を行い、次のことを確認した。

- ・「教育目標」は、従来からの本学の教育理念を大きく変えるものではないが、実現するために、必要に応じて教育プログラムの変更・組織改編を伴うこともある。
- ・まずは1～2月までにまとめ、その後は、状況に応じて「ロードマップの見直し・改善」を行うこととなる。
- ・「迅速かつ適切に判断する力」を育む教育の一方で、「粘り強く対応していく」面も必要なので、どこかに記載できないか。
- ・教養教育の抜本的な見直しについては、教学マネジメントセンターを中心に、各学部の修得すべき単位数を揃えることや教養教育科目のあり方について議論を進めており、年度内に原案を作成して教務委員会を通じて意見を伺う予定である。

戦略企画・評価分析室から、来年4月からのスタートとするため、12月中旬までに「アクションプラン」の整理、1月末くらいまでに「ロードマップ」の作成をお願いしたいとの依頼があり、学長から、スケジュールに沿って作業を進めて頂きたいとの付言があった。

## 4. 岩手大学教育研究施設等の教員候補者選考委員会規則の一部改正(案)について

学長から、岩手大学教育研究施設等の教員候補者選考委員会規則の一部改正(案)について審議する旨が述べられ、次いで、藤代理事から、資料に基づき、専任教員が在籍した

い場合に対応するための改正であるとの説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承した。

## 5. 平泉文化研究センターの第4期以降の将来構想案について

学長から、平泉文化研究センターの第4期以降の将来構想案について審議する旨が述べられ、次いで、水野理事から、資料に基づき、これまでの経緯や平泉研究に関する実績、今後の展望・必要性について説明があった。また、研究部門に教育部門を加えて「平泉文化教育研究センター」へ改組し、第4期の中期目標・中期計画に掲げる重点研究を行うためにも、センターを所掌する専任教員の補充を要望したいとの提案があった。

なお、概算要求については、水野理事及び学長から、新たに「平泉学」を構築し、学生の教育プログラムを開発することで要求事項に繋がられないか検討中であるとの説明があった。

審議において、次の意見があった。

- ・専任教員の人件費に学長ポイントを使用するのであれば、教育研究施設等の専任教員配置の全体像について説明があった方が分かりやすいのではないか。

- ・専任教員の担当科目について、教養教育をもっと担当できないか、センターを総括する立場であるのに教育学部の授業など担当が多く負担ではないか、日本の考古学を教える教員の補充がないのに中国の考古学の補充であるが、本学全体のビジョンとしてはどうなっているのか。

- ・研究センターの実績をきちんと総括して、評価書や報告書をまとめて学内に示してからの方が理解を得られるのではないか。

学長から、全てのセンターは第4期に向けて実績の総括をする必要があること、本件についても、総括した資料に基づいて教員配置の必要性も含め改めて議論させて頂きたいとの発言があり、審議を終了した。

## 6. その他

なし

## 報 告

### 1. 全学委員会等の見直しによる会議削減効果の検証について

藤代理事から、資料に基づき、全学委員会等の見直しによる会議削減効果の検証について報告があった。なお、全学委員会の削減により、教育研究施設の活動が構成員に伝わらない状況については、本会議や学部長・研究科長会議などで報告していきたいとの発言があった。

また、各学部の会議についても「教員の教育・研究時間の確保」の観点から見直しを進めて頂きたいので、10月の本会議において現在の検討状況について報告して欲しい旨の依頼があった。

**2．寄附講義「いわて観光グローバル人材育成講座」の設置について**

比屋根副学長から、資料に基づき、寄附講義「いわて観光グローバル人材育成講座」の設置について報告があった。

**3．教員人事に関する報告について（人文社会科学部、教育学部）**

教員人事について、資料に基づき、人文社会科学部長から1件及び教育学部長から1件の報告があった。

**4．役員会報告について**

**5．学長・副学長会議報告について**

資料のとおり。

**6．危機管理委員会報告について**

学長から、資料に基づき、7月から9月中に開催した岩手大学危機管理委員会（第29回～第35回）について報告があった。

**7．入試委員会報告について**

**8．入試結果の報告について**

**9．令和3年9月卒業生及び修了生について**

資料のとおり。

**10．その他**

法人運営部長から、盛岡市より新型コロナウイルスワクチンの接種会場として第一体育館の借用依頼があり、併せて本学学生の接種希望の受付についても準備を進めているとの報告があった。

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の10月28日（木）の15時から開催することが述べられた。